

高来神社(中郡大磯町)

たかく

ここが高来神社(高麗神社)の一の鳥居/背後が高麗山/同地に高麗寺も創建され、神仏融合となっていた(高麗寺は神仏分離により廃寺となってしまった)

 [video](#)



二の鳥居/右奥は地藏堂跡に建つ慶覚院



参道から前方に社殿(旧観音堂)を見たところ



ここからが境内



境内に入ると左手に「カ石」があった



これが社殿(旧観音堂)



右手から見たところ

 video



高来神社

(高麗寺) 略縁起

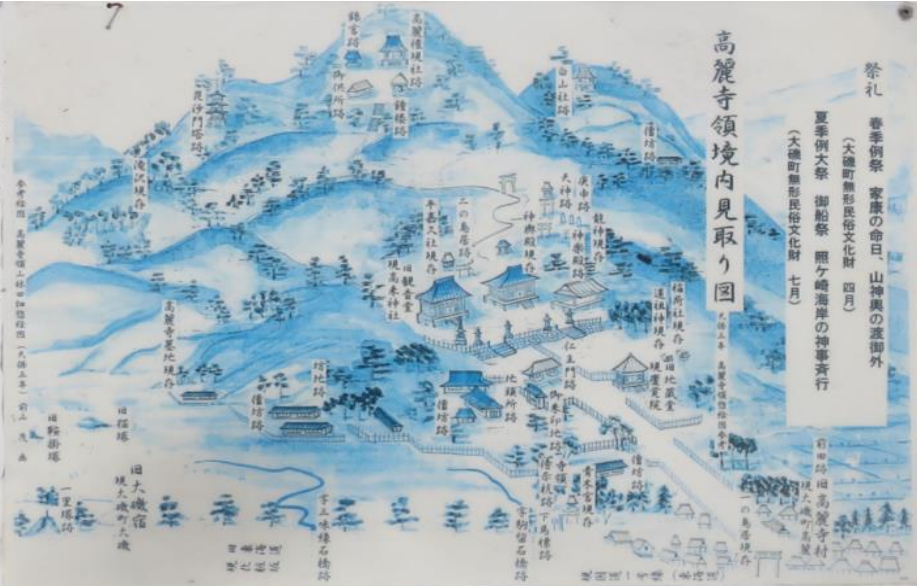
古代 大磯の東に登る高麗山は昔より神宿る山として住民から信仰されて来ました。創始 神功皇后が三韓を討つた後に、高麗山の上に神皇産靈神・高麗大神和光(高麗権現)を遷し祀り天下の平和をお祈りされました。後に瓊瓊杵尊・応神天皇・神功皇后が併せ祀られました。この高麗権現は箱根神社並び伊豆山神社に遷祀されており、若光渡来 天智七年(六六八)高句麗国が滅亡するや高句麗の王族若光は大磯の高麗に渡来して大陸文化を伝えました。聖徳二年(七一六)大磯を初め各地に渡来した高句麗人が若光を都長として武蔵国高麗郡に移され開発を命ぜられました。高麗寺の創建 養老元年(七一七)僧行基がこの地を尋ね大磯の照ヶ崎の海中よりお上りになった千手観音菩薩を拝し本地佛と定められ高麗寺を創建されました。かくして神仏習合の聖地となり鷄足山高麗寺を別当寺とし長く信仰されて来ました。中世 鎌倉時代は幕府の厚い信仰を受け相模の大寺社に列せられ境内に二十四僧坊が置かれましたが、室町時代には高麗山は要害の地とし、直なる戦いの被害を受け白山社・毘沙門三重塔など多くの伽藍、寺宝が焼失されました。

江戸期 天正十九年(一五九)徳川幕府から御朱印地として寺領百石と山林を与えられ、寛永十一年(一六三四)東照権現(徳川家康)が勧請されました。そして天海僧上より寺十三条掟書を授けられました。参勤交代の殿様もお駕籠から降りて高麗寺の大鳥居の前で深々とお辞儀をして毛槍を下げて寺領内を静かに通り、領民の土下座はなかつたと伝えられます。

近代 明治の世となり神仏分離の政策により高麗寺は廃寺となり、明治三十年に高来神社と改称されました。現在旧観音本堂(下社)に遷座されています。千手観音菩薩を始めとする寺物は現慶覚院に安置されました。高来神社は古来より高麗、大磯の鎮守神として地域住民の平和と安全を御守護されています。祭神 神皇産靈神、瓊瓊杵尊、応神天皇、神功皇后、

祭礼 春季例祭 家康の命日、山神輿の渡御外
(大磯町無形民俗文化財 四月)
夏季例大祭 御船祭 照ヶ崎海岸の神事奉行
(大磯町無形民俗文化財 七月)

高麗寺領境内見取り図



高麗の山神輿(色鮮やかな衣装を高麗山頂上の上宮まで渡御)



神輿



女神像 高さ 八六、七寸 (弘安五年頃の制作)



高麗権現社の面影をとどめる上宮(昭和55年に撤去される)昭和49年撮影

高来神社 (高麗寺) 略縁起

古代 大磯の東に聳える高麗山は昔より神宿る山として住民から信仰されて来ました。

創始 神功皇后が三韓を討つた後に、高麗山の上に神皇産霊神・高麗大神和光(高麗権現)を遷し祀り天下の平和をお祈りされました。後に瓊瓊杵尊・応神天皇・神功皇后が併せ祀られました。この高麗権現は箱根神社並び伊豆山神社に遷祀されております。

若光渡来 天智七年(六六八)高句麗国が滅亡するや高句麗の王族若光は大磯の高麗に渡来して大陸文化を伝えました。霊龜二年(七一六)大磯を初め各地に渡来した高句麗人が若光を郡長として武蔵国高麗郡に移され開発を命ぜられました。

高麗寺の創建 養老元年(七一七)僧行基がこの地を尋ね大磯の照ヶ崎の海中よりお上りになった千手観音菩薩を拝し本地佛と定められ高麗寺を創建されました。かくして神仏習合の聖地となり鶏足山高麗寺を別当寺とし長く信仰されて来ました。

中世 鎌倉時代は幕府の厚い信仰を受け相模の大寺社に列せられ境内に二十四僧坊が置かれましたが。室町時代には高麗山は要害の地として重なる戦いの被害を受け白山社・毘沙門三重塔など多くの伽藍、寺宝が焼失されました。

江戸期 天正十九年(一五九一)徳川幕府から御朱印地として寺領百石と山林を与えられ、寛永十一年(一六三四)東照権現(徳川家康)が勧請されました。そして天海僧上より寺十三条掟書を授かりました。参勤交代の殿様もお駕籠から降りて高麗寺の大鳥居の前で深々とお辞儀をして毛槍を下げて寺領内を静かに通り、領民の土下座はなかつたと伝えられます。

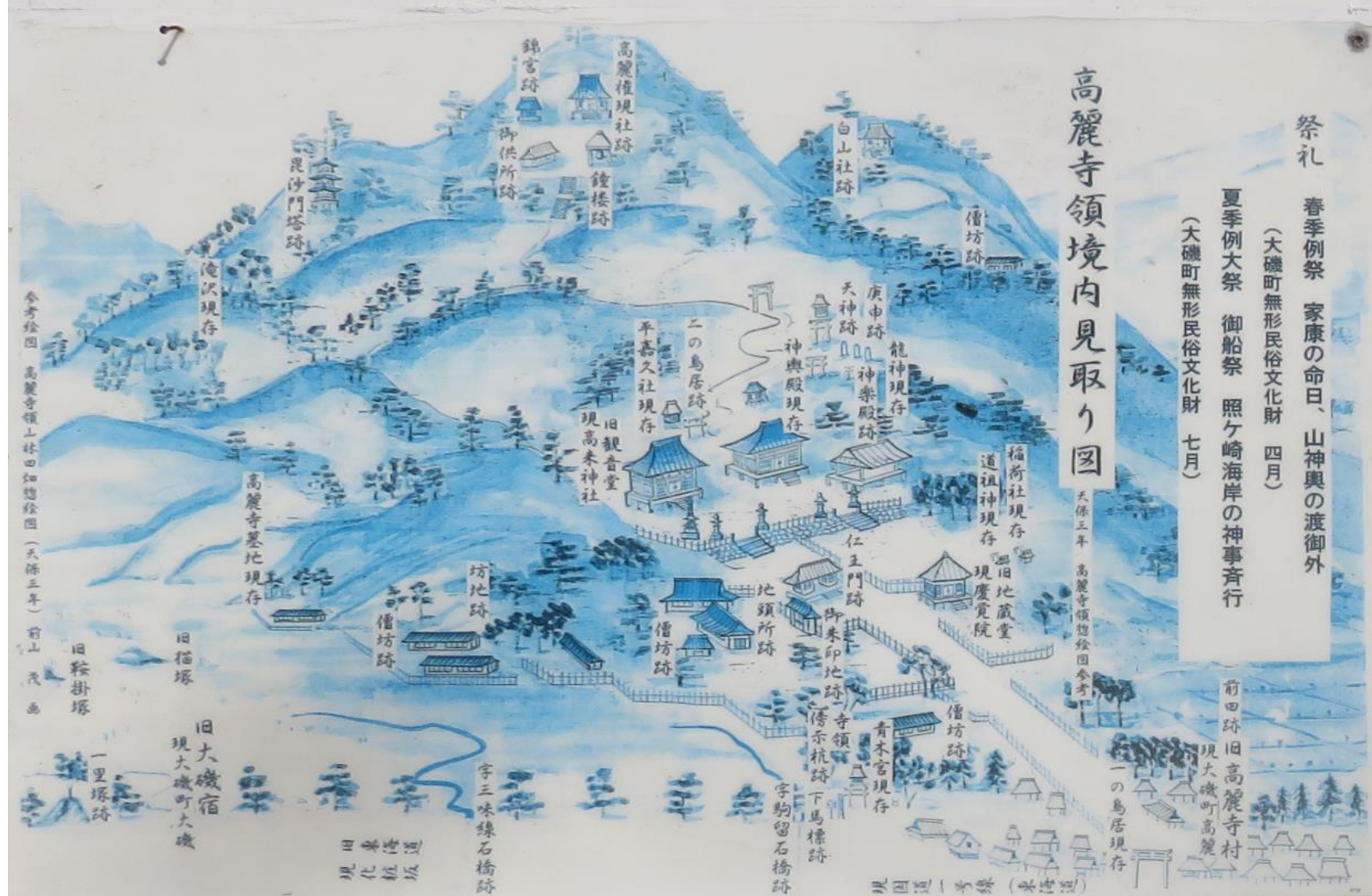
近代 明治の世となり神仏分離の政策により高麗寺は廃寺となり、明治三十年に高来神社と改称されました。現在旧観音本堂(下社)に遷座されています。千手観音菩薩を始めとする寺物は現慶覚院に安置されました。高来神社は古来より高麗、大磯の鎮守神として地域住民の平和と安全を御守護されています。

祭神 神皇産霊神、瓊瓊杵尊、応神天皇、神功皇后、



男神像

高麗寺境内図/高麗神社が引き継いだ観音堂・神輿殿以外の建物は廃仏毀釈の運動の際にすべて壊されてしまったと云う



これは神興殿



これは豊受姫大神を祀るようだ



御祭神 豊受姫大神

希望の人生を
信じ求め行く人々に
勇気を授け
あらゆる苦難に
閉ざされた心の扉を開き
導き下さる神様です

日々の感謝を述べてから
願い事を致しましょう
叶うまでは他言は無用です
ささやかな報告も神様は
大変お喜びになります
願い事にふさわしい行いを
心がけましょう



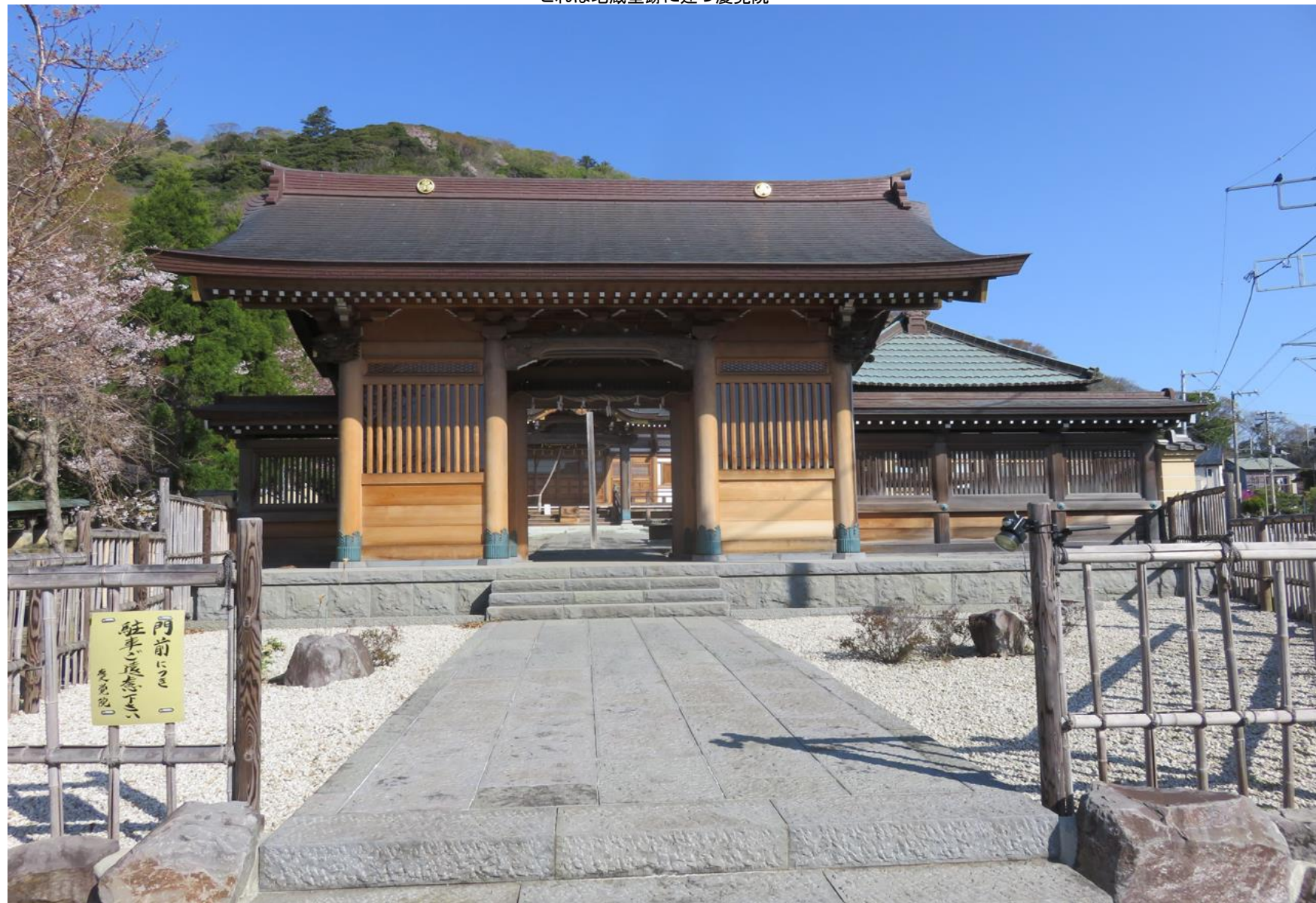
下宮・豊受大神(最強運の守りの神)に
お参りした後は
水神・龍神(チャンスと呼ぶ神)にも
お参りしてください

社殿の背後は上宮(旧高麗権現社)への登り口となっており、左手は男坂、右手は女坂らしい

 video



これは地藏堂跡に建つ慶覚院



参考ホームページ

<http://www.komainu.org/kanagawa/nakagun/Takaku/takaku.html>

<https://www.ensenji.or.jp/blog/13923/>

<https://www.buccyake-kojiki.com/archives/1060186452.html>

<http://zinzyasanpai.web.fc2.com/14/ooiso/1036.htm>

